

地域で「みどり」のおもてなし植樹式 ～陶芸の町益子から サクラの花でおもてなし～

「おもてなし」??あれっ??どこかで聞いたような言葉??

この「おもてなし」は、地域の森林ボランティア団体、事業者、行政等と一緒に、「地域の豊かな緑」で「観光客や地域住民をおもてなしする」ための緑化活動を行うものです。県東地区では、「高齢化したサクラを植え替えて世代交代を促進し、訪れる人に「緑」と「花」のおもてなしを提供する!」ため、2月21日(水曜日)に益子町の益子国民休養地、通称「益子の森」を会場にサクラの植樹式を行いました。

今回は、益子町が益子の森で町の木である「アカマツ」による森づくりを推進するプロジェクト「アカマツ復活プロジェクト」のアカマツ植樹イベントと一緒に開催させていただきました。

その様子をお伝えします。



前日は雪なんて予報もありましたが、当日はくもり時々晴れでした。よかった～～～。

司会進行は「2017マロニエメイツ」の本間さんです。



来賓は、左から順に益子町長、益子焼関係団体振興協議会会長、栃木県県東環境森林事務所長、サクラを寄贈して頂いた(公社)産業資源循環協会さんと(公社)とちぎ環境・みどり推進機構さんです。



グリーンアドバイザーの山口さんから、県土緑化のメッセージ伝達



植樹に参加してくれたのは益子町立七井小学校の5年生の皆さんです。
さあ！班ごとに分かれて植樹開始！！

植えたサクラはソメイヨシノ、ヤマザクラ、シダレザクラ、四季桜の4種類、合計20本です。



県東地区“エコ・もり”地域推進協議会の会員である「キャノン株式会社宇都宮営業所」の方も植樹に参加してくれました！
ありがとうございます。



植樹後にはみんなで記念写真



サクラ色の広場でお花見できる日が待ち遠しいです。



「フォレスト益子」の前の丘にもシダレザクラと四季桜を植えました。
大きくなったらベンチに座りながらお花見できるかも？

益子町主催の「アカマツ復活プロジェクト」アカマツ植樹式の様子もお伝えします。



益子町と益子里山の会から注意事項やアカマツの植樹の仕方の説明をうける七井小5年生の皆さん

アカマツの植え方はわかったかな？
さあ！植樹場所へGO！



子どもたちは、山の斜面もなんのその。

みんなで協力して150本のアカマツを植えました。



みんなの植えたアカマツが益子焼の窯の燃料として使えるのは、大人になってお父さんやお母さんになったころかな？

「このアカマツは、私が植えたんだよ。」なんて話もできるかも。

今回のイベントに協力、参加していただいた皆さん
ありがとうございました。